

# 全国校友大会 1700人 母校創立110周年を祝う



## 創立者生誕150年記念 埋めつくした校友

### ◆記念式典◆

日本歯科大学創立一一〇周年記念全国校友大会・創立者中原市五郎先生生誕150年記念式典・記念講演会ならびに祝賀会は、十月二十一日、千七百人が参加して帝国ホテル東京で開催された。二階「孔雀の間」ロビー前に設けられた受付には、午前十時の受付開始を待ちかねる多くの校友であふれていた。ネットタグを受けとり、三階「富士の間」へ。十分の記念式典開式前には、会場は満席となる。総合司会は福山知沙アナウンサー。小山理校友会副会長の開式の辞につづき、近藤勝洪校友会長が式辞を述べた(別掲)。続いて校友会会頭の中原泉理事長・学長は、旧歯科医師法が公布施行された明治三十九年(一九〇六)から一一〇年にわたる歯科界の変遷について述べた。(二面に全文掲載)

次いで挨拶を述べる  
中原泉理事長・学長

# 日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼人 中原 泉  
編集日 偶数月末日  
発行日 毎月10日  
定価 1部10円  
編集室 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎025(267)1500

### 式辞

日本歯科大学校友会 会長 近藤勝洪  
本日ここに、日本歯科大学創立一一〇周年記念全国校友大会を開催するにあたり、ご臨席いただいた、日本歯科大学理事長・学長の中原泉様はじめ、来賓各位、会員の諸先生に心より感謝申し上げます。日本歯科大学校友会を代表して、母校の創立一一〇周年ならびに創立者中原市五郎先生生誕一五〇年を心からお祝い申し上げます。  
日本歯科大学は明治

部、二十学科、六研究所、四附属病院を擁する世界でも最大規模の医科系総合大学に発展している。ここで子息で中山医学大学の周明勇理事に、近藤校友会長より中原市五郎賞の表彰楯が贈られ、勝海歯学会長より記念品の目録が手渡された。周先生からは、中原理事長に記念品が贈られた。

次に校友会表彰に移り、表彰者を代表して福岡県の高橋省治先生(六十一回)に近藤会長より表彰状が手渡された。ついで学校法人日本歯科大学に校友会から育英基金が贈呈されたのち、これまで逝去された校友会を中心とした五学

長による挨拶があり、中原市五郎賞の授賞式が行われた。校友会と歯学会とが本年から設けた中原市五郎賞について趣旨説明があり、第一回の受賞者として本学二十九回卒の周汝川先生が選ばれたことが発表された。

周先生は、台湾の中山医学大学の創立者で、創立以来五十三年間にわたる理事長を務め、平成二十四年に九十五歳で亡くなられた。中山医学大学は、現在、歯学部、医学部を中心とした五学部、二十学科、六研究所、四附属病院を擁する世界でも最大規模の医科系総合大学に発展している。

周明勇先生に、近藤校友会長より中原市五郎賞の表彰楯が贈られ、勝海歯学会長より記念品の目録が手渡された。周先生からは、中原理事長に記念品が贈られた。

次に校友会表彰に移り、表彰者を代表して福岡県の高橋省治先生(六十一回)に近藤会長より表彰状が手渡された。ついで学校法人日本歯科大学に校友会から育英基金が贈呈されたのち、これまで逝去された校友会を中心とした五学部、二十学科、六研究所、四附属病院を擁する世界でも最大規模の医科系総合大学に発展している。

周明勇先生に、近藤校友会長より中原市五郎賞の表彰楯が贈られ、勝海歯学会長より記念品の目録が手渡された。周先生からは、中原理事長に記念品が贈られた。

次に校友会表彰に移り、表彰者を代表して福岡県の高橋省治先生(六十一回)に近藤会長より表彰状が手渡された。ついで学校法人日本歯科大学に校友会から育英基金が贈呈されたのち、これまで逝去された校友会を中心とした五学部、二十学科、六研究所、四附属病院を擁する世界でも最大規模の医科系総合大学に発展している。

部、二十学科、六研究所、四附属病院を擁する世界でも最大規模の医科系総合大学に発展している。ここで子息で中山医学大学の周明勇理事に、近藤校友会長より中原市五郎賞の表彰楯が贈られ、勝海歯学会長より記念品の目録が手渡された。周先生からは、中原理事長に記念品が贈られた。

次に校友会表彰に移り、表彰者を代表して福岡県の高橋省治先生(六十一回)に近藤会長より表彰状が手渡された。ついで学校法人日本歯科大学に校友会から育英基金が贈呈されたのち、これまで逝去された校友会を中心とした五学部、二十学科、六研究所、四附属病院を擁する世界でも最大規模の医科系総合大学に発展している。

周明勇先生に中原市五郎賞を贈呈

と、来賓が紹介された。おわりに西村正美校友会副会長が「校友会はこれからも母校の発展に寄与し、創立者中原市五郎先生の心と理念を継承していきたい」と閉式の辞を述べた。

五郎先生を記念して創設され、歯科界のノーベル賞たる最高の榮譽として、歯科医学・歯科医療の発展に偉大な業績を残された方を顕彰することを目的としている。



# 歯科界の110年を辿る

日本歯科大学理事長・学長  
日本歯科大学校友会 会頭 中原 泉



さて、歯科医師法という身分法が、医師法とともに公布されたのは、明治三十九年だった。この年を起点として、歯科界の一一〇年を辿りたい。

当時、明治四十年には全国の歯科医師総数は、九百十三人だった。その年の日本の人口は四千七百万人だったので、歯科医師一人に五万二千

人だった。歯科医師過少どころか、皆無といつてよい惨澹たる状況だった。私は、これを歯科の歴史上、第一の危機の時代と位置づけている。

当時、法令に基づく医学校は十四校あったが、歯科医学校はゼロだった。歯科関係者は再三にわたり、国に官立歯科医学校の設立を請願した。

しかし、歯科は富国強兵に関わらずとして、一顧だにされなかった。そのため、事態を憂うる開業医の有志が立ちあがり、明治期に四校、大正前期に二校の私立歯科医学校が創立され、わが国の歯科医師養成の源流となった。

昭和二十年だった。歯科医師数は二万四千人、人口七千二百万人で、一人対三千人だった。人口比は三千人だが、実際の罹患者数は数えきれなかつただろう。GHQにより二校の歯科医学専門学校が廃校となり、残った私立四校、国立一校、公立一校で、荒廃した戦後の歯科医療に対応した。

第三の危機は、昭和四十年に歯科界を襲った。皆保険等により患者さんが激増し、う蝕が洪水のようにあふれ、歯科医師が足りないと呼ばれた。歯科医師数は三万五千人、人口九千九百万人で、一人対三千三百人だったが、実際に患者さんはゆうに

一人対五千人を越えていた。歯科大学・歯学部は、私立六校、国立二校、公立一校の九校だった。ここに至って、歯科医療を軽視してきた国は、昭和四十年と四十二年に五校の国立歯学部を急造したが、焼石に水だった。そこで内々に、私立歯科大学に第二歯学部を増設してほしい、とまことに場当たり的な要請があった。

これに心えて、昭和四十五年から四十八年の四年間に、八校の私立が次々に新設された。総数は二十三校となり、八年足らずで三倍に急増したのだ。昭和五十年頃には歯科医師過剰になると騒がれはじめたが、その後、国立四校、私立二校が加わり、現在の二十九校になった。歯科の歴史

## ◇記念講演◇

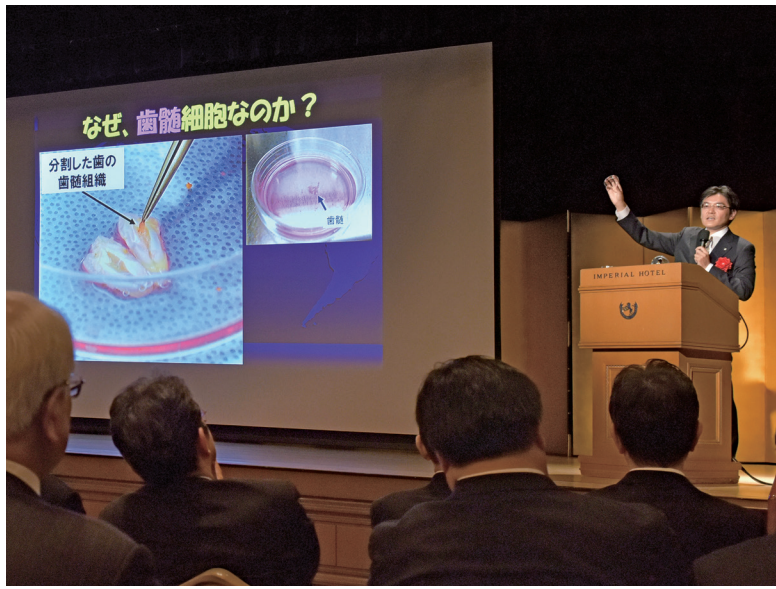
式典閉式後、小倉陽子校友会常務理事の進行により、二題の記念講演が行われた。

中原泉理事長・学長は「日本歯科大学第一回卒業生の足跡」と題して、次の要旨の講演を行い、日本歯科大学専門学校第一回（認定）卒業生十六名の足跡を辿った。

歯科医専第一回卒業式は、明治四十二年十月二十九日に挙式され、本学の機関誌『歯科新報』によれば、中原市五郎校長は卒業告辞のなかで、「日本歯科大学専門学校が創立日浅きにも係わらず、ここに専門学校として第一回の卒業生を出す



記念講演(1) 中原泉「日本歯科大学第一回卒業生の足跡」



記念講演(2) 中原貴「バイオ再生医療のパラダイムシフト」

に到りたることを欣ぶ」と述べたと記している。卒業式のと午後、大森の八景園で、卒業生十六名、教職員、卒業生父母、在校生など二百五十余名が参加して卒業祝賀会が盛大に開催

された。いかに最初の卒業生が待望されていたか、その喜びが伝わってくる。第一回卒業生について

本籍、生年月日、歯科医籍登録年月日、登録番号、開業地、開業年月、略歴、趣味などが明らか

になった。そのうち、土持綱人、豊野圭伯（よしひこ）、入交直重先生の事績について述べた。

最後に十六名のうち四名の方の系図を示し、子息、孫、曾孫と四代にわたり本学を卒業し歯科医業を継いだ校友を紹介した。四代目の九十一回から一〇五回卒業生六名の顔写真を映写し、「四代まで一〇五年間にわたって、同じ学校を出て同じ職業に就いていることは

最後に十六名のうち四名の方の系図を示し、子息、孫、曾孫と四代にわたり本学を卒業し歯科医業を継いだ校友を紹介した。四代目の九十一回から一〇五回卒業生六名の顔写真を映写し、「四代まで一〇五年間にわたって、同じ学校を出て同じ職業に就いていることは

稀有なことであり、母校にとつても誠に誇らしいことである」と結んだ。生命歯学部発生・再生医学講座の中原貴教授は、「バイオ再生医療のパラダイムシフト」と題し、要旨以下のような講演を行った。

「歯牙から取り出した歯髄を用いて培養した歯髄細胞は、従来の再生医療に利用されてきた骨髄細胞に比べて極めて増殖率が高い。短期間で多くの細胞を得られることは、治療において非常に有効と考えられる。加えて、歯

髓細胞は培養の過程で染色体の異常が起こらないため、極めて安全性が高いことが明らかになった。さらに、歯髄細胞は骨芽細胞や脂肪細胞、軟骨細胞など多様に変化するほか、神経細胞にも効率よく変化する。治療への応用としては、既にヒトへの臨床研究が行われている。動物実験の段階だが、神経疾患、筋疾患、臓器疾患などに対し、歯髄細胞を移植することによって回復や改善が認められる、という報告が次々に挙げられている。

本校は、明治四十二年（一九〇九）八月に専門学校に昇格し、第一回新入生が九月に入学した。前年に共立歯科大学に入学した昼間部の学生たちは、日本歯科大学専門学校の二年次に編入して、三年間の所定の課程を修了し、明治四十四年十月に卒業した。当時、文部省では歯科

試験で歯科医籍に登録され、歯科医師免許証が交付されることになった。日本歯科大学医専では、指定校の特典が備わる以前

の明治四十四年に十六名が卒業し、超難関といわれた芸術開業歯科試験に合格するなどして、十五名が歯科医師免許を取得した。本学ではこれを「認定」卒業生と呼称している。同年の「指定」第一回卒業生から卒業年次を通し番号で数えており、本年、二〇一六年の卒業生で第一〇五回となる。

「認定」と指定卒業生

の明治四十四年に十六名が卒業し、超難関といわれた芸術開業歯科試験に合格するなどして、十五名が歯科医師免許を取得した。本学ではこれを「認定」卒業生と呼称している。同年の「指定」第一回卒業生から卒業年次を通し番号で数えており、本年、二〇一六年の卒業生で第一〇五回となる。



れば、忠臣蔵を理解したことにはならない。この忠臣蔵と同様、私どもは、私立はケシカラ

再生医療の未来を述べる中原貴教授に聞き入る参加校友





総合司会の福山知沙アナウンサー



受付で記帳する斎藤貞雄名誉会員(34回卒)



開式の辞を述べる小山理副会長

日本歯科大学創立一一〇周年記念全国校友大会は、創立者中原市五郎先生 生誕一五〇年とあわせて、帝国ホテル東京で平成二十八年十月二十二日に開催された

日本歯科大学  
NIPPON DENTAL UNIVERSITY  
1907 伝統と創造

創立110周年記念  
全国校友大会  
創立者中原市五郎先生 生誕150年

平成28年10月22日(土) 帝国ホテル東京  
主催 日本歯科大学校友会



中原泉理事長・学長に記念品を手渡す中山医学大学の周明勇理事(右)



西村正美副会長による閉式の辞



周理事に中原市五郎賞の目録を贈呈する勝海一郎歯学会会長(左)



来賓祝辞を述べる牧野利彦日本歯科医師会副会長(右)と村上慎一郎鹿児島大学歯学部同窓会長(左)



右は校友会表彰の記念楯を贈られる高橋省治先生(61回卒)



日本歯科大学創立110周年記念全国校友大会  
創立者中原市五郎先生 生誕150年  
記念式典・記念講演



「日本歯科大学 第一回卒業生の足跡」

中原 泉学長：まことに稀有なことだろうが、明治44年に卒業した日本歯科医学専門学校の第一回卒業生から数えて四代、代々にわたり本学を卒業し、同じ歯科医師としての道を歩み活躍している…



校友会から母校に育英奨学基金が贈呈された



記念講演進行役の小倉陽子常務





祝賀会開会の辞は藤井重壽副会長



生命歯学部アンサンブル部による演奏



倉治康男専務理事の謝辞で、中締め



# 日本歯科大学創立110周年記念全国校友大会 創立者中原市五郎先生 生誕150年 祝賀会

## ◇記念祝賀会◇

午後一時すぎ、祝賀会  
会場の二階「孔雀の間」  
には、すでに人があふれ  
る。ウエルカム・ドリン  
クを片手に、人の波をか  
きわけながら懐かしい顔  
を探し求める校友たち。  
正面と両脇のスクリーン  
には、校友会が制作した  
「日本歯科大学一〇年

のあゆみ」が上映され、  
歓談の輪が広がる。  
定刻午後一時三十分、  
藤井重壽校友会副会長が  
開会を告げた。出席者全  
員が、壇上左側の校旗に  
向い校歌を斉唱した。  
近藤勝洪会長は、「会  
場あふれるほどの多くの  
皆さまの前で、祝賀会  
のご挨拶をさせていた  
だく。日本歯科大学は  
一九〇七年、明治四十年

に創立された。これまで  
も創立七十年、八十年、  
九十年、百年と祝賀会を  
開催してきたが、そのい  
ずれも校友会が母校の  
周年をお祝いする、とい  
うことで進めてきた。校  
友会自体の周年事業では  
なく、母校の発展を祝う  
という心根で続けてきた  
し、創立一〇〇年もこう  
ありたいと思う。平成  
十八年の一〇〇周年のお

祝いから十年の歳月が  
たった。その間に東日本  
大震災がおこり、今年の  
四月には熊本地震、昨日  
は鳥取県で地震があつ  
た。多くの災害が発生  
し、そのたびに校友会は  
会員の支援というかたち  
で、強い絆で結ばれてき  
た」と述べた。  
中原泉理事長・学長は  
「今年には日本歯科大学に  
とり大変縁起のよい年で



創業400有余年、江戸東京・豊島屋酒造の銘酒「金婚」で鏡開き

あった。まず第一は飯田  
橋駅西口の駅舎が八十年  
ぶりに改修され、現在仮  
駅舎ができています。改札  
口を出て階段を降り、横  
断歩道をわたると附属病  
院の玄関に来るが、駅か  
ら十五秒の距離になる。  
改修工事はオリピック  
前に完工するが、出入り  
口の一つは日本歯科大学  
の前にできる。

一〇〇周年記念館の飯  
田橋駅寄り、元の大学院  
棟があった本学用地の横  
に、百坪の庭園をもつ高  
級フランス料理店が来年  
の七月に開店する。ラン  
チタイムも営業するそう  
なので、日本歯科大学御  
用達のレストランになると  
思う。  
ノーベル医学生理学賞  
を、大隅良典先生が受賞  
されると発表があった。  
大隅先生は本学客員教授  
で、昨日、大隅先生から  
本学関係者に一斉メール  
が送られてきた」と述  
べ、「今回のノーベル受

賞の発表に際しお祝いの  
暖かい言葉をいたたくこ  
とができ大変幸せを感じ  
ている。すばらしい先  
輩、同僚、後輩に恵まれ  
たことを感謝している」と  
というメールも紹介し、  
最近のトピックスが披露  
された。  
続いて鏡開きになり、  
ステージ左側に、中原泉  
理事長・学長、勝海一郎  
歯学会長、牧野利彦日本  
歯科医師会副会長、村上  
慎一郎鹿児島大学歯学部

同窓会長、三ツ林裕巳衆  
議院議員が並んだ。ス  
テージ右側には、近藤勝  
洪校友会長、中原爽元参  
議院議員、そして名誉会  
員の光安一夫相談役、朝  
比奈敏行名誉会員、齋藤  
貞雄名誉会員が並び、司  
会の福山アウンサーの  
掛け声とともに鏡開きが  
行われた。  
創立一〇〇周年を祝  
う万雷の拍手のなか、  
名誉会員の齋藤貞雄先  
生(三十四回卒)、朝

比奈敏行先生(三十七  
回卒)、光安一夫先生  
(四十七回卒)が紹介さ  
れ、乾杯に移る。光安一  
夫相談役が創立一〇〇周  
年を心からお祝いすると  
述べ、乾杯の発声を行っ  
た。生命歯学部アンサン  
ブル部による演奏が流れ  
るなか、歓談に入った。  
中原市五郎先生の生誕  
一五〇周年を記念して制作  
された「中原式咬合器の  
開発」の映像が上映さ  
れ、CGで合成された下

顎が可動する咬合器の映  
像に感嘆の声があがった。  
三ツ林裕巳衆議院議員  
(生命歯学部内科学教  
授、附属病院副院長)が  
挨拶を述べたのち、朝比  
奈名誉会員の発声で万歳  
を三唱した。  
三時三十分、倉治康  
男専務理事は、「記念式  
典、記念講演がつなが  
り、祝賀会も盛会  
に進んでいる、十年後に  
またお会いしたい」と謝  
辞を述べ、中締めとした。



△挨拶する近藤会長  
校旗に向い全員で校歌斉唱▷



日本歯科大学のトピックスを  
語る中原理事長・学長

<乾杯の発声は光安一夫相談役

会場では動画「中原式咬合器の開発」と  
「日本歯科大学110年のあゆみ」が上映された▷





# [2017年] 歯髄細胞バンク 第2期認定医講習会

2015年に開催した第1期8回の講習会につづき、「日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンク」の第2期認定医講習会を下記4回の日程で行います。全て同じ内容なので、いずれか1回を受講してください。

| 2017年 |           |
|-------|-----------|
| 第9回   | 7月16日(日)  |
| 第10回  | 7月30日(日)  |
| 第11回  | 11月19日(日) |
| 第12回  | 12月3日(日)  |

○時間：13：00～15：00  
○会場：生命歯学部富士見ホール  
○費用：無料  
○問合せ先：日本歯科大学生命歯学部庶務部(歯髄細胞バンク) 03-3261-8626

## 歯髄細胞バンク

### 愛称とキャラクターを商標登録

本学では、昨年「パールくん」は、第二〇一五年十二月に、歯髄細胞バンクの愛称とキャラクターの商標登録を出願していたが、二〇一六年(平成二十八年)七月十五日付で、「パールフィーくん」は、特許情報プラットフォームHJP掲載の登録

「パールくん」は、第二〇一五年十二月に、歯髄細胞バンクの愛称とキャラクターの商標登録された。存続期間満了日は二〇二六年七月十五日で、所定の手続きで更新される。権利者は、学校法人日本歯科大学。特許情報プラットフォームHJP掲載の登録

### 博物館と校友会で動画を制作

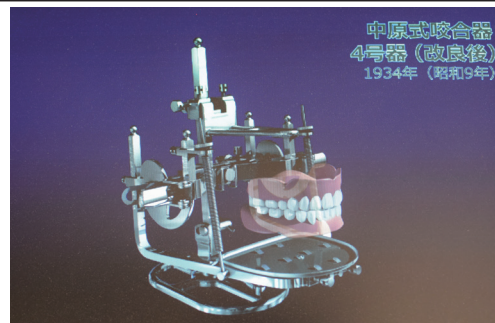
本学では、中原市五郎先生生誕一五〇年を記念して「中原式咬合器の開発」を制作した。

中原式咬合器は一九一七年(大正六)に特許登録したが、いくつかのタ

イブがあり、一九三四年(昭和九)の下顎可動式「歯科用咬合器」まで四件の特許を取得している。

動画「中原式咬合器の開発」は、本学関係者らの協力を得て、新潟生命

歯学部医の博物館が企画し、同館の佐藤利英准教授(有床義歯学専攻)が構成した。当時の特許明細書や博物館が所蔵する中原式咬合器の実物を基に、その特徴や独自性、各タイプの改良点などをCGの合成により、現在



△医の博物館制作の「中原式咬合器の開発」

## スクリーン・ショット

▽校友会制作の「日本歯科大学110年のあゆみ」



約十二分間と、簡潔に纏めた五分間の動画があり、現在は各地の校友大会で活用されている。

また校友会では、本学の歴史と現況を纏めた「日本歯科大学一〇年のあゆみ」を全国校友大会にあわせて制作した。二本の動画は、十月二十二日に開催された創立一〇〇周年記念全国校友大会で上映され、参加者たちに感銘をあたえ、大きな拍手が寄せられた。

これらの動画と、校友大会での式典、記念講演などの模様は、校友会のHPからダウンロードできる。

## 新潟で日本食養道定食



「日本食養道定食」を試食する学生たち



麦ごはんともそ汁など80年前のレシピを再現

新潟生命歯学部では、十月三十一日(金)十二月十三日に、創立者中原市五郎先生生誕一五〇年を記念して、「日本食養道」に基づいた再現メニュー(日本食養道定食)をGAKUSHOKUにおいて一日限定で学生に提供した。

献立は、八十年前に富士見小学校で実施された「児童正食会」でのレシピに基づき、玄米とみそ汁サンマの煮つけなど、一食一五〇円で、四十食を用意した。

二〇一五年に成立した「日本食養道」で、一九三七年(昭和十二)に刊行された。その全文と解説は『考証中原市五郎史伝』に収録されている。

以上前に「食育の祖」と呼ばれている石塚左玄の考えを継承し、国民に食育推進運動を試みて実践活動を記した著書が『日本食養道』で、一九三七年(昭和十二)に刊行された。その全文と解説は『考証中原市五郎史伝』に収録されている。

学術フォーラム 2017

日本歯科大学校友会では、二〇一七年二月二十六日に、学術フォーラム2017を生命歯学部本館で開催する。プログラムは左表の通り。受講料は校友会員・本学教職員は一万円、非校友会員一万五千円、歯科衛生士・歯科技工士三千円、一〇一〜一〇五回卒業生・本学学生・大学院生は無料。詳細は十一月発行の『日本歯科大学校友会・歯学会会報』四十二巻二号に掲載。

## 日本歯科大学校友会 学術フォーラム2017開催のお知らせ

とき/平成29年2月26日(日) ところ/日本歯科大学生命歯学部本館3F・7F

●演者ならびに演題  
最新の理論や技術、整理しておきたい知識などを企画しました。希望の演題を自由にお選び下さい。テーブルクリニックはどなたでも聴講可能ですが、実習希望者は各回の定員をご確認のうえお申込下さい。(申込・入金済の方から先着とさせていただきます)

|          | 氏名         | 卒回  | 所属         | 職階   | 演題                                                        |
|----------|------------|-----|------------|------|-----------------------------------------------------------|
| 131 講堂   | 講演1 小林隆太郎  | 73  | 口腔外科       | 教授   | すぐわかる「色からみる口腔粘膜病変 一口腔がんを見落とさない」                           |
|          | 講演3 都築 民幸  | 66  | 歯科法医学講座    | 教授   | 子ども虐待を防止する—マルトリートメントへの対応—                                 |
|          | 講演5 岩原 香織  | 88  | 歯科法医学講座    | 講師   | 必要とされる支援を、必要とする被災者に—災害時の歯科医療救護—                           |
| 135 講堂   | 講演2 田中 浩祐  | 91  | 石井歯科医院勤務   | -    | 患者利益のエンドとは?—外科的歯内療法への過去と現在—                               |
|          | LS 北村 和夫   | 75  | 総合診療科      | 教授   | NiTi 新時代—今までの常識を覆す非超弾性ファイル HyFlex™CM・HyFlex™ EDM の特徴と使用法— |
|          | 講演4 中原 賢   | 95  | 先端研究センター   | 准教授  | 超高齢社会に求められるインプラント治療                                       |
|          | 講演6 村岡 秀明  | -   | 千葉県開業      | -    | 下顎顎堤吸収の進んだ症例にどう対応するか                                      |
| 7F 臨床実習室 | TC1 富永 毅   | -   | 附属病院 歯科技工室 | 医療職員 | ファイバーポストを応用したレジン支台築造における成功への条件                            |
|          | TC2 石黒 一美  | 92  | 歯周病学講座     | 助教   | 基礎から学べる歯周治療                                               |
| 132 講堂   | ポスター 河合 麻友 | 102 | 総合診療科      | 臨床助手 | ホワイトニングのイメージ調査—千代田区区民公開講座を実施して—                           |
|          | ポスター 安部 美紀 | 101 | 総合診療科      | 臨床助手 | 患者さんに喜ばれたウォーキングブリーチの一症例                                   |
|          | ポスター 義隆 伸之 | -   | 総合診療科      | 臨床助手 | 顎関節症における生活習慣指導—医師指向型アプローチが増悪因子として働いた1例—                   |
| 134 講堂   | ポスター 西田 太郎 | 98  | 歯科保存学講座    | 助教   | ラバーダム防湿への誘い                                               |
|          | ポスター 櫻田 綾子 | -   | 総合診療科      | 臨床助手 | こんなに長持ち!! ホームホワイトニング                                      |
|          | ポスター 中原 貴  | 88  | 発生・再生医科学講座 | 教授   | 歯髄細胞バンクの現状と将来展望                                           |

※TC=テーブルクリニック LS=ランチョンセミナー  
●ミニデンタルショー [9:00~17:00] 場所: 3F 132講堂, 134講堂